

淀川左岸線(2期)事業だより

(第5号)

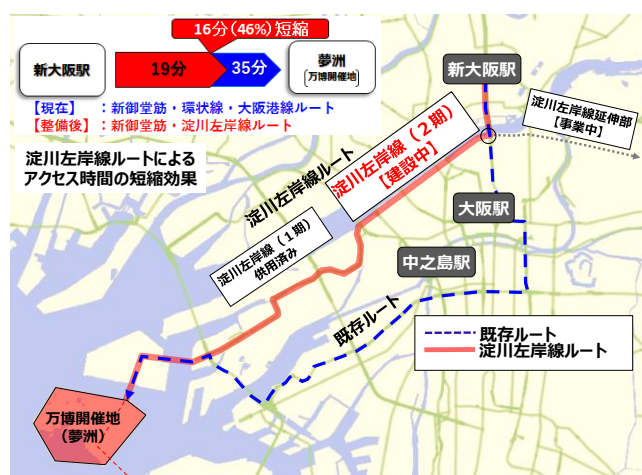
※ 淀川左岸線(2期)事業の概要は創刊号(第1号)をご覧ください

万博開催時のアクセスルート活用について

① 万博時の整備状況

事業だより第1号で紹介のとおり、淀川左岸線(2期)の建設中区間を万博会場である夢洲への万博専用アクセスルートとして活用します。本ルートの活用により、新大阪駅、大阪駅等の大阪中心部を発着する駅シャトルバス等の定時性を確保した運行が可能となります。

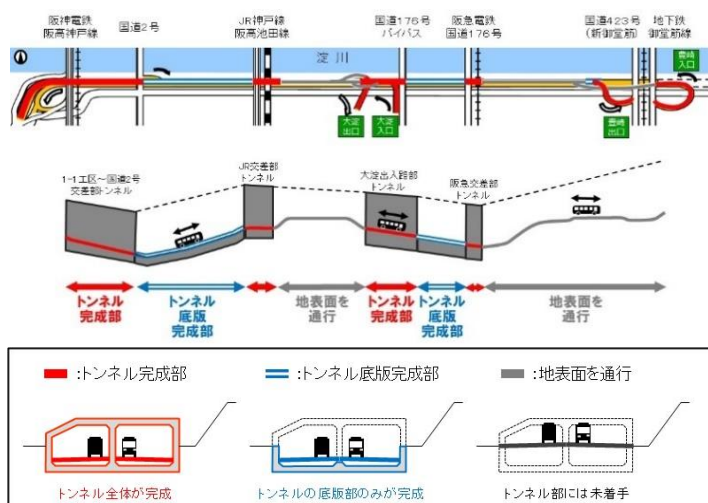
参考：<https://www.expo2025.or.jp/news/news-20241210-01/>



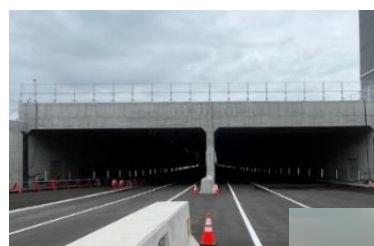
しかしながら、万博開催時にはトンネル構造物がすべて完成するわけではありません。

早い段階で工事着手した下流側など万博開催までにトンネル全体が完成する区間、トンネルが途中までできている区間、トンネル建設のための掘削前の区間と工事の進捗が異なりますが、進捗状況に合わせた形態でアクセスルートとして活用することとしており、令和7年1月以降、バス事業者による本路線の試運転が実施される予定となっています。

▲ アクセスルート



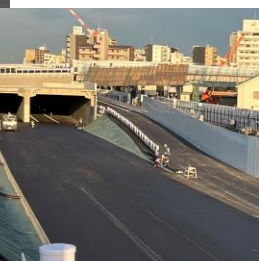
▲ 整備イメージ



▲ 阪高神戸線付近



▲ 国道176号付近



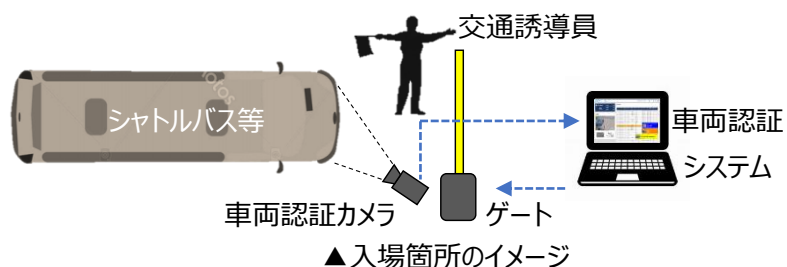
▲ 大淀付近

② 万博時の運用について

(1) 入場管理

淀川左岸線（２期）を万博アクセスルートとして用いる際は、シャトルバスなど事前に許可を受けた車両のみが運行可能なルートとなります。

ただし、入口は現在供用中の道路と接続されるため、交通誘導員とゲートを配備して、誤って一般の車両が進入しないように対策を行います。誤って進入ルートに来てしまった車両は、一般の道路に戻れるように交通誘導員により案内を行います。設置するゲートは車両認証システムと連動しており、事前に登録した車両を検知すると自動でゲートが開くシステムとなっています。



(2) 路線内の安全・運行管理

アクセスルート内で事故や落下物などの異常がないか確認するため、全線に Web カメラを設置し、管理センターで常時監視する体制を確保します。

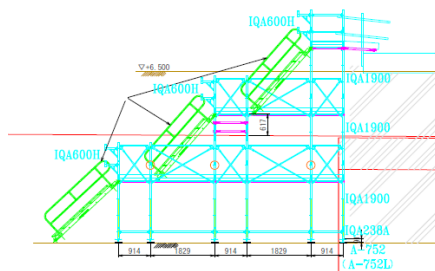
また、万博期間中は毎日のパトロールを行い目視での異常確認を行うとともに、緊急時には万全の対応ができるよう、博覧会協会・警察・消防・接続先の阪神高速道路等を含めた連絡体制の構築を行っていきます。



(3) 運行管理のため必要となる設備

万博時、淀川左岸線（２期）は、照明が設置されていない状態となります。トンネルが完成している区間内は日中でも真っ暗となるため、仮設照明として LED ライト等の設置を行います。

火災発生時などの緊急時において、完成後はトンネルと一体で構築される非常階段から避難を行います。利用時には非常階段が未完成の箇所があります。そのため避難用の仮設階段や案内表示を設置し利用時の避難ルートを確認します。



**避難用非常口
EXIT**

▲非常口の案内表示

今年も出前講座・現場見学会を実施しました

淀川左岸線（２期）工事の沿線にある福島区の３小学校を対象に出前講座・現場見学会を行いました。

- ・令和 6（2024）年 11 月 22 日（金） 鷺洲小学校 生徒数(145 名)
- ・令和 6（2024）年 11 月 26 日（火） 海老江西小学校 生徒数(28 名)
- ・令和 6（2024）年 11 月 27 日（水） 海老江東小学校 生徒数(62 名)

＜出前講座＞

大阪市の担当者から淀川左岸線（２期）事業の目的や効果、大阪・関西万博開催時にはアクセスルートとして利用することの説明のほか、淀川左岸線（２期）は川の堤防と一体となる全国的にもめずらしい構造となるため、淀川の堤防で工事をするにあたっての安全対策について説明を行いました。

また、実際にその場に立っているかのように景色を見ることができるVRゴーグル、高速道路が立体的に浮き上がったように見える3Dディスプレイ等について児童のみなさんに、実際に体験していただき、関心を持っていただきました。

講座の終わりの質問コーナーでは、この工事現場で何人の作業員がいるのか？ 工事にかかる費用はいくら？ など、児童のみなさんが元気よく手を挙げて質問をしてくれました。



▲出前講座のようす（左下：海老江西小学校、右上：鷺洲小学校、右下：海老江東小学校）

＜現場見学会＞

出前講座の後、トンネルを構築中の工事現場を見学していただきました。

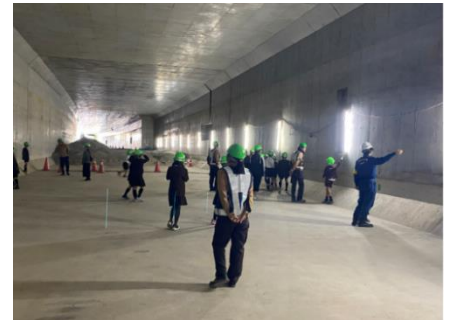
現場内では、職員に質問を投げかける児童や、トンネル内部の様子に驚かれた児童が多く、アスレチック広場で遊ぶような感覚で楽しんでいたのが印象的でした。普段見ることや入ることができない工事現場に入ることができたので、驚きや発見で笑顔がいっぱいでした。



▲トンネル外側からのようす

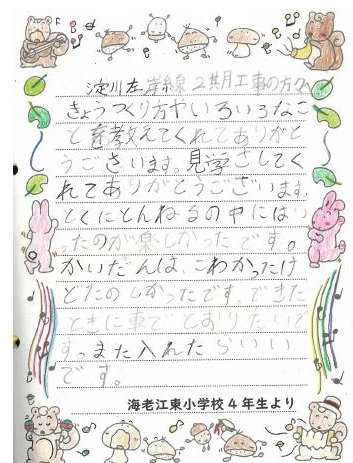
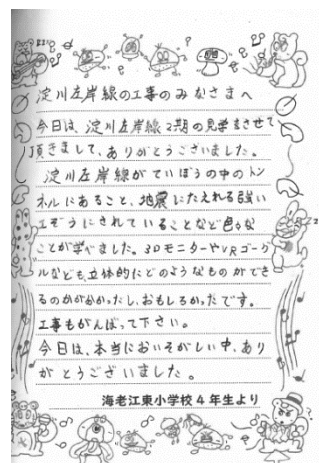
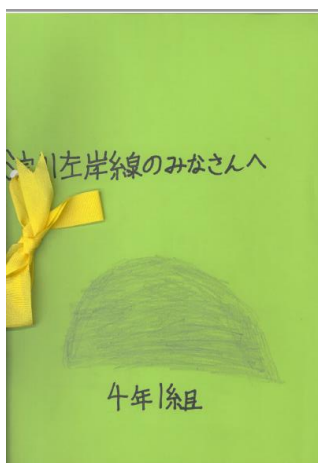


▲トンネル内に入っていくようす



▲トンネル内を見学しているようす

後日、児童のみなさんから感想文をいただきました。出前講座での3DモニターやVRゴーグル等に関心を持ち、トンネルの規模の大きさに驚かれている感想が多かったです。また、工事の完成を楽しみにしているという、うれしい感想をたくさんいただき、本事業のやりがいをより一層感じることができました。児童のみなさん、ありがとうございました。今後も早期完成をめざし、安全に工事を進めていきたいと思います。



▲児童のみなさんからいただいた感想文